

いつもあたらしい！ MOMAT コレクション

会期：2025年7月15日（火）～10月26日（日）
会場：東京国立近代美術館 所蔵品ギャラリー4～2階

今期も名品ぞろい。おすすめは、ラウシェンバーグ生誕100年に合わせて多くの新収蔵品をお披露目する「ジャンクとポップ」、日韓国交正常化60周年を記念する「コレクションにみる日韓」です。当館の所蔵作品展は、保存の観点から会期ごとにほぼすべての展示作品が入れ替わります。一度出品されたらしばらく見られない作品も少なくありません。近現代美術史を見通しながら、いつもフレッシュなトピックに触れられるMOMATコレクションをぜひお楽しみください。

今期のおすすめ その1 ジャンクとポップ (3F 8室)

2025年は、戦後アメリカ美術を代表する作家、ロバート・ラウシェンバーグ（1925-2008）の生誕100周年。これを記念して、当館自慢のコレクションのひとつ《ポテト・バズ》を展示します。さらに、菊畑茂久馬（1935-2020）の没後5周年にあわせ、国内各地の美術館を横断的につなぐ企画「LINKS - 菊畑茂久馬」に参加し、菊畑作品を展示。1960年代から現代にかけてのジャンク・アートとポップなもの、消費社会との結びつきをテーマに、新収蔵の日比野克彦と大竹伸朗の作品も紹介します。

[1] 小島信明《ボクサー》1968年



みどころ

- 2022年の「大竹伸朗展」ポスターを飾った大作《残景0》や大竹の代表作《ニューシャネル》を、MOMATコレクションとして初めてお披露目します。
- 新収蔵の日比野克彦の段ボール製の作品は、修復等のため今期の後はしばらくは展示されません。この機をお見逃しなく。

関連サイト

- 「ラウシェンバーグ100」：<https://rauschenberg100.org/>
- 「LINKS - 菊畑茂久馬」：<https://links.kikuhata2025.art/>



[2] ロバート・ラウシェンバーグ
《ポテト・バズ》1971年



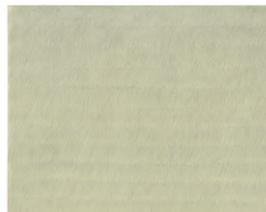
[3] 菊畑茂久馬《ルーレット》
1963年

今期のおすすめ その2 コレクションによる小企画 コレクションにみる日韓 (2F ギャラリー4)

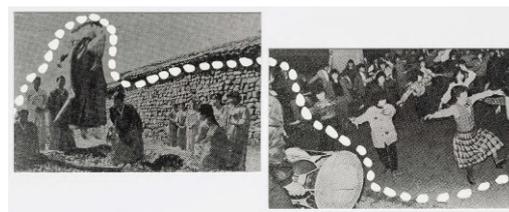
2025年に日本と韓国は国交正常化60周年を迎えました。この記念すべき年に、当館は朴栖甫（パク・ソボ）（1931-2023）とソン・ヌンギョン（1944-）という韓国現代美術を代表する2人の作家のシンボリックな作品を収集することができました。そのお披露目と、西洋以外の地域の作品収集にも広がる当館の収集方針の紹介も兼ねて、コレクションを通じて美術の側面から日韓関係の歩みを振り返ります。

みどころ

- 世界的に評価が高まる韓国「単色画」を代表する巨匠、朴栖甫（パク・ソボ）。そのスタイルを確立した時期の傑作を初公開します。
- 日本国内初の収蔵例！韓国におけるコンセプチュアル・アートの先駆者であるソン・ヌンギョンの作品を紹介します。



[4] 朴栖甫（パク・ソボ）
《描法 No.2-74》1974年



[5] ソン・ヌンギョン《現場：オルシグ！》1985年

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良
Tel : 03-3214-2565 (直通) Email : pr-f@momat.go.jp



開催概要

タイトル：所蔵作品展「MOMAT コレクション」(しょぞうさくひんでん もまっとこれくしょん)
(英) Collection Exhibition MOMAT Collection

会場：東京国立近代美術館所蔵品ギャラリー 4階から2階

会期：2025年7月15日(火)～10月26日(日)

休館日：月曜日(ただし7月21日、8月11日、9月15日、10月13日は開館)、
7月22日、8月12日、9月16日、10月14日

開館時間：10:00-17:00(金曜・土曜は10:00-20:00)※入館は閉館30分前まで

観覧料：一般500(400)円/大学生250(200)円

※()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込 ※金曜・土曜の17時以降は、割引料金(一般300円、大学生150円)
※高校生以下および18歳未満、65歳以上は無料。※障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。

住所：〒102-8322 千代田区北の丸公園3-1

アクセス：東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)徒歩3分

一般のお問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)

ウェブサイト：<https://www.momat.go.jp>

主催：東京国立近代美術館

同時期開催：企画展「コレクションを中心とした特集 記録をひらく 記憶をつむぐ」
2025年7月15日(火)～10月26日(日)
<https://www.momat.go.jp/exhibitions/562>

「コレクションを中心とした特集 記録をひらく 記憶をつむぐ」の観覧料で、
入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」とギャラリー4「コレクションによる小企画
コレクションにみる日韓」もご覧いただけます。



東京国立近代美術館は、皇居のほど近くに建つ、日本で最初の国立美術館。1952年に開館し、2022年12月1日に開館70周年を迎えました。最大の特徴は重要文化財18点(うち2点は寄託)を含む14,000点近い国内最大級のコレクション。19世紀末から今日まで、国を代表する多数の名作を所蔵しています。都会の真ん中でありながら自然豊かなエリアに位置し、最上階の休憩室「眺めのよい部屋」からは、皇居の緑と丸の内ビル群のパノラマ・ビューをお楽しみいただけます。

ご取材お待ちしております！

東京国立近代美術館には、「コレクション情報発信室」があります。所蔵品を管理する美術課に所属し、作品の魅力や楽しみ方を広報する部署です。当館の所蔵する日本随一の作品群は、まだ十分に知られていません。いつでも気軽にご連絡ください。コレクションをよく知る研究員が、みなさまからのご取材を心よりお待ちしております。



きんだい ちかよ
近代 近代

【プレスリリースお問い合わせ先】

東京国立近代美術館 美術課コレクション情報発信室 成相・由良

Tel : 03-3214-2565(直通) Email : pr-f@momat.go.jp

